

1970年の想いを次の万博へ！ 2025年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオンの サイエンスブース アテンダントユニフォーム完成

ファインバブルを独自の技術で効率よく吐水する「ミラブルテクノロジー」を多種多様な分野に導入し、人々の暮らしをより豊かにすることを目的とする株式会社サイエンス（所在地:大阪市淀川区、取締役会長 青山恭明）は、2025年に開催される大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンにて、「ミライ人間洗濯機」、「宇宙シャワー」を出展します。この度、サイエンスのブースで国内外から訪れる多くの方々に対して展示案内や各種接遇等をおこなうアテンダントのユニフォームを決定しました。デザインは、ファッションブランドの運営を軸に活動を広げているクリエイティブディレクター/デザイナーである大野陽史氏によって手掛けられ、「70年大阪万博 サンヨー館」コンパニオンのユニフォームをモチーフに制作。元のデザインの特徴を保ちながら、現代的な要素を取り入れることで、ユニークで時代に合ったスタイルに寄せて制作されました。



「ミライ人間洗濯機」展示ブース
アテンダント用



「ミライのヘルスケアゾーン」
サイエンスブース アテンダント用



サイエンス作業員用

● 70年大阪万博 サンヨー館コンパニオンのユニフォームの継承

サイエンスの「ミライ人間洗濯機」は、1970年大阪万博で展示されたサンヨー館「ウルトラソニックバス（通称：人間洗濯機）」の未来型として、今回大阪・関西万博で出展します。70年万博のウルトラソニックバスは、当初の出展物のなかでも唯一社会実装されなかったものとして記憶に残っています。「ミライ人間洗濯機」の開発・製造には、「ウルトラソニックバス」の技術開発者の山谷英二様と、デザイナーの上田マナツ様にも技術アドバイザーとして協力をいただいています。社会実装されなかった想いを今回の万博にもつなげるべく、「ミライ人間洗濯機」のアテンダントのユニフォームは70年万博のサンヨー館のコンパニオンのユニフォームのデザインを継承。鮮やかな黄色の色彩とレトロな雰囲気を漂わせる大きめのボタンなどは、元のデザインの特徴を保ちながら現代的な要素を取り入れたデザインに仕上がっています。



1970年万博 サンヨー館 コンパニオンのユニフォーム

●デザインのこだわり

サイエンスのアテンダントユニフォームは、1970年万博のユニフォームデザインを継承し、過去から現在、そして未来へとつながるイメージをテーマとし、デザインに落とし込んでおります。素材はストレッチ性が高く動きやすさを重視する為にジャージーを採用しており、この素材は遮熱や紫外線防止、吸水速乾など現代の日本の暑さに対応出来る機能性を備えております。また、環境に配慮したりサイクル原料を使用した素材を採用。レディースのトップスは短めの着丈とボリュームを持たせた袖の組み合わせにより、スタイルを良く見せながら女性らしい優しいニュアンスを表現しています。また袖は肩部分で着脱可能な仕様になっているため、季節問わず着用者が柔軟に寒暖差に対応できるのも特徴です。ボトムスはウエストゴムのイージーパンツ仕様になっており、年齢・性別問わず着用出来るユニセックスなデザインになっています。

カラー展開に関しては、「ミライ人間洗濯機」アテンダント用のユニフォームは、1970年万博のユニフォームと同色である黄色、「ミライのヘルスケアゾーン」アテンダント用のユニフォームは、宇宙から見た「地球」をイメージしたブルー、サイエンス作業員用のユニフォームは展示物を引き立たせる無彩色のグレーを採用し、計3色展開となっています。

〈カラー展開、着用対象者〉

黄色・・・サイエンス 「ミライ人間洗濯機」展示ブース アテンダント
ブルー・・・「ミライのヘルスケアゾーン」サイエンスブース アテンダント
グレー・・・サイエンス 作業員

【アテンダントユニフォーム概要】

名称：株式会社サイエンス アテンダントユニフォーム
ユニフォームアイテム：長袖ジャケット（袖は着脱可能）
パンツ、帽子

製作会社：株式会社アトリエアッシュ

デザインコンセプト：1970年万博サンヨー館のコンパニオンユニフォームを現代的にデザイン
「地球」「宇宙」をイメージしたカラー展開

採用素材：ポリエステルダンボールニット、ポリエステルポンチ
機能性：2way ストレッチ、遮熱、紫外線防止、吸水速乾など

●株式会社アトリエアッシュ クリエイティブディレクター 大野陽史様のコメント

1970年万博のユニフォームデザインを継承しながらも、その時代には無い要素。セットアップジャージーで構成されたユニフォーム、テクノロジーの進化による様々な機能性に加え、環境に配慮したサステイナブルな素材、エイジレス、ジェンダーレスな視点を持ったアイテム、など表面的には見えない“過去から未来への時間の経過”をデザインの要素に組み込んだ想いをこのユニフォームを通して感じていただけたらと思います。

●会社概要

社名：株式会社サイエンス
所在地：〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪セントラルタワー北館5F
代表取締役社長：水上 康洋
法人設立：2007年8月
事業内容：ファインバブル製品の開発・製造・販売及びメンテナンス
WEBサイト：<https://i-feel-science.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サイエンス 経営企画本部 企画広報部 前倉 小南
Mail：maekura@science-t.jp / Tel：06-6307-2400